

令和元年6月6日

地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟

会長 田村憲久先生

ソーシャルケアサービス研究協議会

代表 白澤政和

「地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟」は重点課題として5点を挙げられていますが、その中でも特に喫緊の課題である児童虐待への対応について、以下のとおり要望いたします。

昨今の児童虐待の痛ましい事件は、子どもたちの人権を擁護する私たち福祉専門職に大きな衝撃と慚愧に堪えない思いをもたらしました。今後このような子どもたちが犠牲になるような事態を一刻でも早くなくすためにはソーシャルワークが現場でしっかり機能することが必要です。この度、私たちは「児童虐待を早急に根絶するため児童福祉司にソーシャルワーク専門職である社会福祉士・精神保健福祉士の必置を求める署名活動」を行った結果、45,174筆の署名が集まりました（令和元年6月5日現在）。また、社会福祉士・精神保健福祉士が児童虐待の分野においてその力量を高めるため、「資格取得前教育の充実」、「資格取得後教育の充実」、「児童福祉司に対する後方支援」の3つの提案をとりまとめました。

ぜひ、児童虐待根絶に向けて、児童福祉司を始め、市町村における子ども家庭の相談援助職に社会福祉士・精神保健福祉士の必置を促進いただけますようお願いいたします。

以上